



アートスパークホールディングス株式会社

2019年12月期 第1四半期

決算説明補足資料

目次



1.業績ハイライト

1-1.連結損益計算書 2

1-2.連結貸借対照表 3

1-3.事業セグメント別損益の状況 4



2.事業セグメント別の概況

2-1.クリエイターサポート事業 5

2-2.UI/UX事業 6



3.今期の主要施策 7

1-1.連結損益計算書

単位：千円

	期間比較(1月～3月)			※ご参考
	2018年 12月期 第1四半期	2019年 12月期 第1四半期	前年同期比	2018年12月期 通期
売 上 高	1,012,234	1,179,586	16.5%	3,789,652
営 業 利 益	213,506	256,158	20.0%	374,886
経 常 利 益	200,978	252,177	25.5%	357,679
純 利 益	178,746	202,381	13.2%	334,144

■業績の概況

- ・売上高：前年同期167,352千円増加
- ・営業利益：前年同期42,651千円増加
- ・経常利益：営業外費用で為替差損等の合計4,012千円により252,177千円の経常利益
- ・純利益：税金費用等により202,381千円の純利益

■トピックス（2019年1月～3月）

- ・ソフトウェアIPを核とした経営に重点、開発リソースの戦略的配置等、経営効率向上に注力

1-2.連結貸借対照表

単位：千円

	前連結会計年度末 (2018年12月末日)		当連結会計年度第1四半期末 (2019年3月末日)		
	金額	構成比	金額	構成比	前期末増減額
流動資産	3,353,799	77.0%	3,564,085	53.4%	284,679
固定資産	1,003,625	23.0%	3,116,393	46.6%	2,041,237
繰延資産	—	—	—	—	—
資産合計	4,357,424	100.0%	6,680,478	100.0%	2,325,917
流動負債	666,971	15.3%	2,529,374	37.9%	1,862,402
固定負債	213,655	4.9%	338,538	5.1%	127,746
負債合計	880,627	20.2%	2,867,913	42.9%	1,990,148
純資産合計	3,476,797	79.8%	3,812,565	57.1%	335,768
負債・純資産合計	4,357,424	100.0%	6,680,478	100.0%	2,325,917

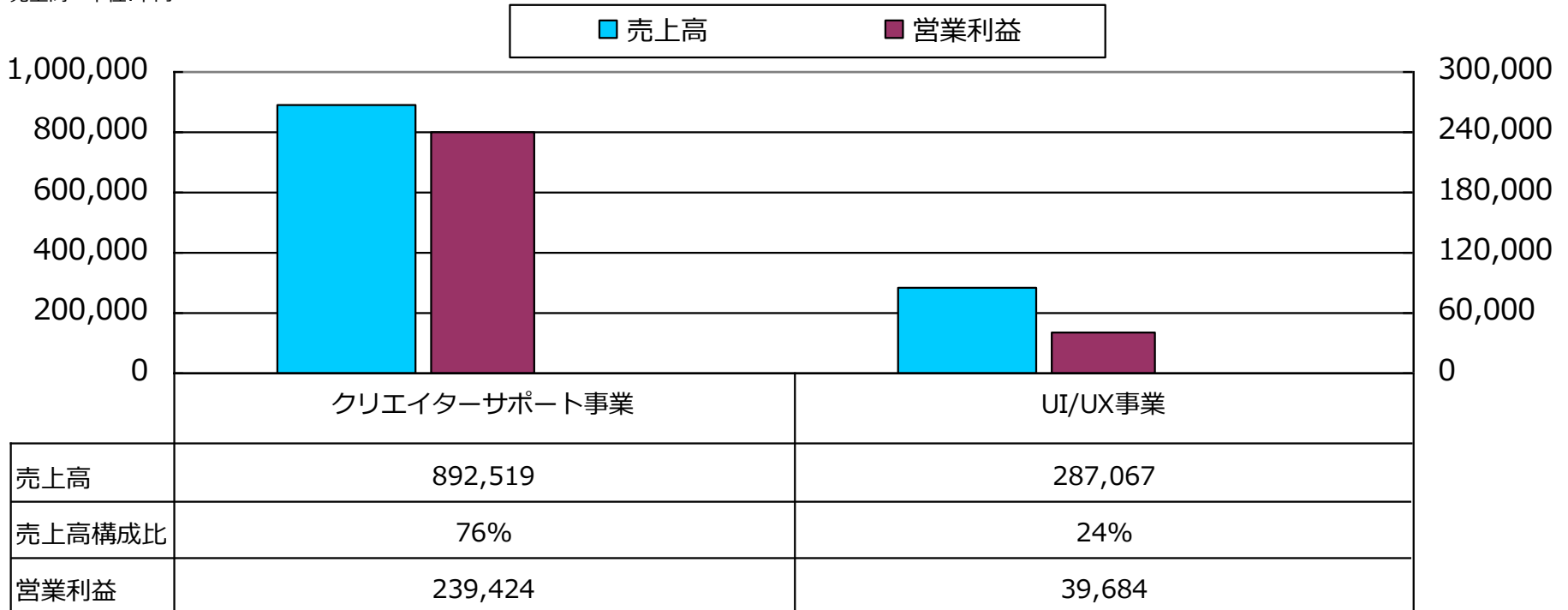
■ 主な増減の内容

- ・ 資産の部 : 現金及び預金の減少－231,849千円、売掛金の増加+273,614千円、ソフトウェア仮勘定の増加+1,834千円、仕掛品の増加+23,240千円、ソフトウェアの増加+8,072千円
- ・ 負債の部 : 短期借入金の増加+1,450,000千円、長期借入金の減少－13,898千円、未払法人税等の増加+73,557千円
- ・ 純資産の部 : 当期純利益計上により利益剰余金の増加+168,401千円

1-3.事業セグメント別損益の状況

売上高 単位:千円

営業利益 単位:千円



■売上高

- ・クリエイターサポート事業は33.7%増加、UI／UX事業は16.7%減少

■営業損益

- ・クリエイターサポート事業は72.8%増加、UI／UX事業は24.3%減少

2-1. クリエイターサポート事業

単位：千円

	期間比較(1月～3月)			※ご参考
	2018年 12月期 第1四半期	2019年 12月期 第1四半期	前年同期比	2018年12月期 通期
売 上 高	667,809	892,519	33.7%	2,903,801
営 業 損 益	138,555	239,424	72.8%	472,096

■業績の概要

- ・売上高では、対前年同期224,709千円の増加となり、営業利益では、対前年同期100,868千円の増加となりました

■トピックス（2019年1月～3月）

- ・「CLIP STUDIO PAINT」シリーズの、累計出荷本数が500万本を突破
- ・「BCN AWARD 2019」のグラフィックスソフト部門で、年間販売台数1位のベンダーとして表彰
- ・「CLIP STUDIO PAINT」の最新バージョンに、機械学習（AI）の技術を活用した「ポーズスキャナー」を搭載



2-2.UI/UX事業

単位：千円

	期間比較(1月～3月)			※ご参考
	2018年 12月期 第1四半期	2019年 12月期 第1四半期	前年同期比	2018年12月期 通期
売 上 高	344,424	287,067	△16.7%	885,850
営 業 損 益	52,425	39,684	△24.3%	△67,423

■業績の概要

- ・売上高では、対前年同期57,357千円減少となり、営業損益では、対前年同期で12,740千円の減少となりました

■トピックス（2019年1月～3月）

- ・「exbeans UI Conductor」のセイコーエプソン株式会社のプリンターへの搭載台数が累計で500万台を突破
- ・大手OEMの車載機器向けサービスソフトウェアに採用されている、移動体向け車載情報伝達ソフトウェアの累計出荷台数が、北米市場を中心に300万台を突破

3. 今期の主要施策

1. ソフトウェアIPを核とした経営に重点
2. 引き続き、開発リソースの戦略的配置等、経営効率向上に注力
3. CLIP STUDIOの開発・サービス提供を強化し、グローバル展開を更に加速
4. CLIP STUDIOプラットフォームを活用したコンテンツ制作・流通・再生にまつわる提供サービスの開発
5. 自動車を中心とした様々な組込機器向けにノウハウを集中、ビジネスを強力に推進
6. 自社IP製品(UI Conductor、CGI Studio等) の機能強化に向けた開発に注力
7. グループシナジーの創出による開発力の強化

4-4.CLIP STUDIOを活用した提供サービスの開発

クリエイターに必要な”すべて”をつなぐ

ソフトウェア

プロセス

環境

サービス

人

情報・コンテンツ

準備

発表

CLIP STUDIO

制作

2D・3D・電子書籍で培った
ノウハウの融合により、
クリエイターに新たな価値を提供

全世界でユーザーを拡大していくために
必要な機能・サービス開発

4-5.exbeans UI Conductor (エックスビーンズ ユーアイ コンダクター)



組込HMIを開発するための統合的なソフトウェア群

ツール上で素材配置、インタラクション設定、アニメーション設定をオーサリングした、プロジェクトデータを実装環境上で量産開発することができます。

市場ニーズに応じ、随時バージョンアップを行っており、最新バージョンでは、「ビューモデル」、「ビューステートエディタ」機能を搭載し、UIの表現力と、3Dのパフォーマンスが向上しております。

4-5. CGI Studio (シージーアイスタジオ)



UI/UX事業の製品力と販売力を強化

「自動車市場及び家電分野向けの理想的なHMIソリューションを提供するために、すべての活動に専念する」というミッションのもと、スケーラブルでハードウェアに依存しないHMI及びGUI設計ソフトウェア「CGI Studio」等の提供を行い、欧州を中心に大手自動車メーカー向けにOEM供給を行っております。



本資料は、当社の事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は決算データ・会社データについては2019年3月31日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見/予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また、今後予告なしに変更されることがあります。